

<マニュアル訂正連絡票>

ASP FTP 説明書 V27

[J2K0-0089-01]

2018年12月25日発行

修正箇所(章節項): 付録 B サーバ機能の応答メッセージ

旧記事

付録 B サーバ機能の応答メッセージ

530 Can't set guest privileges.

[意味]

指定したプロフィール名は使用できない(存在しない, またはアクセス制限されている, ユーザ ID が未設定等).

FTPX の場合, DTS-X の定義と一致していない.

xxxxxxx には, ユーザ名, パス名およびエラー詳細が通知される.

[利用者処置]

正しいプロフィール名, または別のプロフィール名を指定し, 再度実行する.

または, サーバ側の状態を調査し(FTP ユーザファイル, ユーザ ID 等), 再度実行する.

FTPX の場合, DTS-X の定義を見直し, 再度実行する.

550 Requested action not taken ;directory not empty

[意味]

要求された処理は, 実行できない.

パス名のディレクトリ内にファイルが存在するので削除できない.

[利用者処置]

先にディレクトリ内のファイルを削除し, 再度実行する.

または, システム管理者に連絡する. システム管理者は, サーバ側の状態を調査する.

新記事

付録 B サーバ機能の応答メッセージ

530 Can't set guest privileges.

[意味]

指定したプロフィール名は使用できない(存在しない, またはアクセス制限されている, ユーザ ID が未設定等).

FTPX の場合, DTS-X の定義と一致していない.

xxxxxxx には, ユーザ名, パス名およびエラー詳細が通知される.

[利用者処置]

正しいプロフィール名, または別のプロフィール名を指定し, 再度実行する.

または, サーバ側の状態を調査し(FTP ユーザファイル, ユーザ ID 等), 再度実行する.

FTPX の場合, DTS-X の定義を見直し, 再度実行する.

550 Arguments too long

[意味]

UNIX 互換の FTP サーバにおいて, FTP プロトコルコマンドの LIST または NLST を総称名文字(*)指定で受け付けたが, 通知するファイル名リストのサイズの合計が 5116 バイト以上のため, ファイル名リストを通知できない. LIST と NLST は, ディレクトリ内容を表示す

る場合や、複数のファイルを総称名(*)で一度に受信する場合に使われる FTP プロトコルコマンドである。

[利用者処置]

ファイル名リストのサイズは「総称名に適合した全ファイルのパス長の合計 + 総称名に適合した全ファイル数」であるため、以下の方法でファイル名リストのサイズを小さくする。

- ・対象のディレクトリにカレントディレクトリを変更してから、ディレクトリを指定せずにファイル名リストを取得する。

例 1) ASP の FTP クライアントから複数のファイルを受信する場合

CTLFTPC コマンドでカレントディレクトリを変更してから、RCVFTPC コマンドでファイルを受信する。この結果、ファイル名リストにディレクトリ名が含まれなくなり、ファイル名リストのサイズが小さくなる。

```
CTLFTPC FUNC=CWD, PATH=' /DIR1'  
RCVFTPC FILE='*', TOPATH=' /DIR2/'
```

例 2) Windows の FTP クライアントから複数のファイルを受信する場合

cd コマンドでカレントディレクトリを変更してから、mget コマンドでファイルを受信する。この結果、ファイル名リストにディレクトリ名が含まれなくなり、ファイル名リストのサイズが小さくなる。

```
cd /DIR1  
mget *
```

- ・ファイル名の冒頭文字列と総称名(*)を組み合わせ、複数回のコマンド投入でファイル名リストを取得する。

例 1) ASP の FTP クライアントから複数のファイルを受信する場合

RCVFTPC コマンドの FILE パラメタでファイル名の冒頭文字列を指定してファイルを受信する。この結果、受信対象のファイル名が絞られて、ファイル名リストのサイズが小さくなる。

```
RCVFTPC FILE=' /DIR1/A*', TOPATH=' /DIR2/'  
RCVFTPC FILE=' /DIR1/B*', TOPATH=' /DIR2/'
```

例 2) Windows の FTP クライアントから複数のファイルを受信する場合

mget コマンドのパラメタでファイル名の冒頭文字列を指定してファイルを受信する。この結果、受信対象のファイル名が絞られて、ファイル名リストのサイズが小さくなる。

```
mget /DIR1/A*  
mget /DIR1/B*
```

- ・対象のディレクトリ内のファイル数を減らす。
- ・対象のディレクトリ内のファイル名を短くする。

```
550 Requested action not taken ;directory not empty
```

[意 味]

要求された処理は、実行できない。

パス名のディレクトリ内にファイルが存在するので削除できない。

[利用者処置]

先にディレクトリ内のファイルを削除し、再度実行する。

または、システム管理者に連絡する。システム管理者は、サーバ側の状態を調査する。

付表 H.1 クライアント機能で使用するポート番号

	制御コネクション		データコネクション			
	自側	相手	ACTIVE モード		RASV モード	
			自側	相手	自側	相手
FTP クライアント	自動採番 (1024～5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用	自動採番 (1024～5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用	未サポート	
対話型 FTP クライアント	自動採番 (1024～5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用	自動採番 (1024～5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用		
FTPX クライ アント	自動採番 (1024～5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用	自動採番 (1024～5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用		

付表 H.2 サーバ機能で使用するポート番号

	制御コネクション		データコネクション			
	自側	相手	ACTIVE モード		RASV モード	
			自側	相手	自側	相手
FTP サーバ	21, 1025～65535 (CRTFTPE/CHGFTPE コマンドで指定した 自ポート番号)	クライアント 機能で使用	制御コネクションの 自側ポート番号-1	クライアント 機能で使用	未サポート	
UNIX 互換の FTP サーバ	21, 1025～65535 (NSS 記述のサービ スで指定したポート 番号)	クライアント 機能で使用	制御コネクションの 自側ポート番号-1	クライアント 機能で使用	制御コネクショ ンの自側ポート 番号-1	クライアン ト機能で使 用
FTPX サーバ	1024～65535 (STRFTPX コマンド で指定した自ポート 番号)	クライアント 機能で使用	自動採番 (1024～5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	クライアント 機能で使用	未サポート	

付表 H.1 クライアント機能で使用するポート番号

	制御コネクション		データコネクション			
	自側	相手	ACTIVE モード		PASV モード	
			自側	相手	自側	相手
FTP クライアント	自動採番 (1024~5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用	自動採番 (1024~5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用	未サポート	
対話型 FTP クライアント	自動採番 (1024~5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用	自動採番 (1024~5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用		
FTPX クライ アント	自動採番 (1024~5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用	自動採番 (1024~5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	サーバ機能で 使用		

付表 H.2 サーバ機能で使用するポート番号

	制御コネクション		データコネクション			
	自側	相手	ACTIVE モード		PASV モード	
			自側	相手	自側	相手
FTP サーバ	21, 1025~65535 (CRTFTPE/CHGFTPE コマンドで指定した 自ポート番号)	クライアント 機能で使用	制御コネクションの 自側ポート番号-1	クライアント 機能で使用	未サポート	
UNIX 互換の FTP サーバ	21, 1025~65535 (NSS 記述のサービ スで指定したポート 番号)	クライアント 機能で使用	制御コネクションの 自側ポート番号-1	クライアント 機能で使用	制御コネクショ ンの自側ポート 番号-1	クライアン ト機能で使 用
FTPX サーバ	1024~65535 (STRFTPX コマンド で指定した自ポート 番号)	クライアント 機能で使用	自動採番 (1024~5000 の空き ポート番号が自動採 番される)	クライアント 機能で使用	未サポート	

2017年10月3日発行

修正箇所（章節項）：付録I サーバ機能のポート番号重複時の動作について

以下の内容は、V29（U17091適用時以降）に限定される記事です。

旧記事

付表 I.1 サーバ機能のポート番号重複時の動作

			1番目に起動したサーバ		
			FTPサーバ	UNIX互換のFTPサーバ	FTPXサーバ
2番目に起動するサーバ (ポート番号重複)	FTPサーバ	STRFTP コマンド 投入結果	【結果メッセージ】 ・S0978でエラー復帰 【送信メッセージ】 なし 【起動状態のサーバ】 ・1番目に起動したFTPサーバ	【結果メッセージ】 ・S0000で正常復帰 【送信メッセージ】 ・S5904 【起動状態のサーバ】 ・1番目に起動したUNIX互換のFTPサーバ ・2番目に起動したFTPサーバ	【結果メッセージ】 ・S0000で正常復帰 【送信メッセージ】 ・S5904 【起動状態のサーバ】 ・1番目に起動したFTPサーバ ・2番目に起動したFTPサーバ
		クライアントの接続先	1番目に起動したFTPサーバ	1番目に起動したUNIX互換のFTPサーバ	2番目に起動したFTPサーバ
	UNIX互換のFTPサーバ	STRINETD コマンド 投入結果	【結果メッセージ】 ・S0000で正常復帰 【送信メッセージ】 ・S5904, S7810 【起動状態のサーバ】 ・1番目に起動したFTPサーバ ・2番目に起動したUNIX互換のFTPサーバ	【結果メッセージ】 ・S0978でエラー復帰 【送信メッセージ】 なし 【起動状態のサーバ】 ・1番目に起動したUNIX互換のFTPサーバ	【結果メッセージ】 ・S0000で正常復帰 【送信メッセージ】 ・S5904, S7810 【起動状態のサーバ】 ・1番目に起動したFTPサーバ ・2番目に起動したUNIX互換のFTPサーバ
		クライアントの接続先	1番目に起動したFTPサーバ	1番目に起動したUNIX互換のFTPサーバ	1番目に起動したFTPサーバ
	FTPXサーバ	STRFTPX コマンド 投入結果	【結果メッセージ】 ・S0000で正常復帰 【送信メッセージ】 ・S5904 【起動状態のサーバ】 ・1番目に起動したFTPサーバ ・2番目に起動したFTPサーバ	【結果メッセージ】 ・S0000で正常復帰 【送信メッセージ】 ・S5904 【起動状態のサーバ】 ・1番目に起動したUNIX互換のFTPサーバ ・2番目に起動したFTPサーバ	【結果メッセージ】 ・S0693でエラー復帰 【送信メッセージ】 なし 【起動状態のサーバ】 ・1番目に起動したFTPサーバ
		クライアントの接続先	2番目に起動したFTPサーバ	1番目に起動したUNIX互換のFTPサーバ	1番目に起動したFTPサーバ

付表 I.1 サーバ機能のポート番号重複時の動作

			1 番目に起動したサーバ		
			FTP サーバ	UNIX 互換の FTP サーバ	FTPX サーバ
2 番目に起動するサーバ (ポート番号重複)	FTP サーバ	STRFTP コマンド 投入結果	【結果メッセージ】 ・ S0978 でエラー復帰 【送信メッセージ】 なし 【起動状態のサーバ】 ・ 1 番目に起動した FTP サーバ	【結果メッセージ】 ・ S0000 で正常復帰 【送信メッセージ】 ・ S5904 【起動状態のサーバ】 ・ 1 番目に起動した UNIX 互換の FTP サーバ ・ 2 番目に起動した FTP サーバ	【結果メッセージ】 ・ S0000 で正常復帰 【送信メッセージ】 ・ S5904 【起動状態のサーバ】 ・ 1 番目に起動した FTPX サーバ ・ 2 番目に起動した FTP サーバ
		クライアントの接続先	1 番目に起動した FTP サーバ	1 番目に起動した UNIX 互換の FTP サーバ	1 番目に起動した FTPX サーバ
	UNIX 互換の FTP サーバ	STRINETD コマンド 投入結果	【結果メッセージ】 ・ S0000 で正常復帰 【送信メッセージ】 ・ S5904, S7810 【起動状態のサーバ】 ・ 1 番目に起動した FTP サーバ ・ 2 番目に起動した UNIX 互換の FTP サーバ	【結果メッセージ】 ・ S0978 でエラー復帰 【送信メッセージ】 なし 【起動状態のサーバ】 ・ 1 番目に起動した UNIX 互換の FTP サーバ	【結果メッセージ】 ・ S0000 で正常復帰 【送信メッセージ】 ・ S5904, S7810 【起動状態のサーバ】 ・ 1 番目に起動した FTPX サーバ ・ 2 番目に起動した UNIX 互換の FTP サーバ
		クライアントの接続先	1 番目に起動した FTP サーバ	1 番目に起動した UNIX 互換の FTP サーバ	1 番目に起動した FTPX サーバ
	FTPX サーバ	STRFTPX コマンド 投入結果	【結果メッセージ】 ・ S0000 で正常復帰 【送信メッセージ】 ・ S5629 【起動状態のサーバ】 ・ 1 番目に起動した FTP サーバ	【結果メッセージ】 ・ S0000 で正常復帰 【送信メッセージ】 ・ S5629 【起動状態のサーバ】 ・ 1 番目に起動した UNIX 互換の FTP サーバ	【結果メッセージ】 ・ S0693 でエラー復帰 【送信メッセージ】 なし 【起動状態のサーバ】 ・ 1 番目に起動した FTPX サーバ
		クライアントの接続先	1 番目に起動した FTP サーバ	1 番目に起動した UNIX 互換の FTP サーバ	1 番目に起動した FTPX サーバ

2012年1月20日発行

修正箇所 (章節項): 3.1 機能比較の表

旧記事

新記事を追加して下さい。

新記事

主な相違点	FTP サーバ	UNIX 互換の FTP サーバ
ファイル, ディレクトリの削除 (NLST+DELETE) ⇒mdelete	総称名指定されたファイルと空のディレクトリのみが削除される.	総称名指定されたファイル, ディレクトリ直下のファイルが削除される. ディレクトリ直下に空のサブディレクトリがあった場合, そのサブディレクトリも削除される.

以上